

肘で開けるドアノブ拡張部品、アルコールの支給の要望

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年6月10日）

周知のように世界的な新型コロナウイルスの流行によりその影響下にある我々ですが、大学院生は自分たちの研究をそれぞれ精一杯続けております。人間・環境学研究科では建物の立ち入りこそ制限されていないものの、日々予防に余念なく、研究しております。そのための院生研究室の利用も、最低限であれ、無論必要です。

冒頭に申しましたように、今回の要望は、各研究室に肘でドアを開けることができる拡張部品、消毒アルコールを支給して欲しいというものであります。

複数の人間が触るドアノブは感染源となりやすいということは広く知られているところであり、その対策として3Dプリンターの図面を無償で提供している企業もあります。京都大学は3Dプリンターを所有しておりますので、そのデータを元に各研究室に拡張部品を配布することが可能なのではないのでしょうか。あるいは既存の製品であれ、各研究室に配備されるべきだと考えます。

また、消毒用アルコールが設置されている場所もありますが、研究室には配布されておりません。現在はそれぞれの研究室の予算、学生が出した自分のお金で消毒液を買ったりしていますが、資金的にもずっと設置することは簡単ではありません。

以上の2点については、所属する者の安全を維持するために大学として当然行うべき配慮かと存じます。無論これらは予防であるため、気を遣って遣い過ぎるということはないと考えます。現状のままでは学生のポケットマネーを削っていることも重要な問題ではありますが、感染者が出てからでは、全く手遅れとなり、責任が追及される問題になると考えます。

以上のように、ドアノブ拡張部品と消毒用アルコールの各研究室への配布、設置を強く要望いたします。

【回答】（回答日：2020年7月7日）

（回答者：人間・環境学研究科 事務部）

手指消毒用アルコールおよび紙ワイパーを、各研究室に配布いたします。

5月8日のオンライン授業開始時より、人環棟および総人棟各階のエレベータ前には手指消毒用の消毒液を設置しております。

その後も、更なる手指消毒の徹底を図るための方策として、必要な物資の確保ができ次第、段階的に設置箇所を拡大すること等を検討してきました。

このたび、当面必要と考えられる物資の確保ができました。

については、手指消毒用アルコールを、対面授業を開始する講義室等へ設置するほか、希望する研究室への配布を順次行っていきます。

また、各研究室でいつでもドアノブなど周辺の消毒も行っていただけるよう、紙ワイ

パーも一緒に配布いたします。

なお、ドアノブ拡張部品設置については、人環としては要望に応えるべく手を尽くしたのですが、同様のものを用意することは、すぐには難しいことが分かりました。

そこで、迅速かつ広範囲に対策できること等を考慮した結果、上記の結論に至りました。

ご理解をいただけますと幸いです。